ひろば・ちがさき

No.819

2008年11月14日

市民会議・市民自治市議団
茅ヶ崎市茅ヶ崎1－1－1
市役所内　0467(82)1111

市民会議・市民自治市議団

中嶋　てるお
TEL 86－5643
須田　ゆずる
TEL 86－8788
岸　正明
TEL 87－8766
小磯　妙子
TEL 52－6731
和田　満
TEL 67－5980

一五〇人用デイキャンプ場、芝生広場、屋内運動場、宇宙科学館等設置を検討

（仮称）小出第二小学校用地活用策

市内の公共用地のうち未利用地の一つである（仮称）小出第二小学校用地の活用策について、このほど教育委員会より議会側に報告がありました。教育委員会で検討を進めてきたところ、今のところデイキャンプ場や芝生敷の多目的広場、屋内運動場、宇宙科学館等を設置する案を考えているとのことで、今後さらに関係者と協議をしながら検討していくそうです。

★

この用地は新たに小学校を建設し（仮称小出第二小学校）湘南ライフタウンの子どもたちを受け入れる予定で市が昭和59年9月から平成元年3月にかけて12人の地権者から取得したものです。場所は茅ヶ崎市堤字八王子原455番地外（地図）。面積1万6621・53㎡（写真）。しかし、藤沢市との市境問題が解決せず学校建設のめどがたたないため、市は暫定利用との位置づけで、約8300㎡をサッカー競技やゲートボールのスポーツ広場に平成7年度から、また約560㎡を消防操法訓練場所に平成16年度から利用してきました。平成19年になって、相模川河畔スポーツ公園の移転先の候補地にされましたが、柳島向河原の方が適しているとの候補地からはずされました。この時点で、暫定利用から本格利用が考えられたことになります。

平成20年、市の公共施設整備・再編計画の中で、未利用となっている公有地の活用について、「市内において一定規模で未利用となっている公有地（市有地・国有地・県有地）については、公共施設の再整備や懸案となっている本市の政策課題のために利活用を行う」との方針が出されたことにより、市有地（仮称）小出第二小学校用地については、「周辺の保全すべき貴重な自然環境との調和を図りながら、教育施設を中心とした土地利用を検討する」とされました。具体的には、**「同用地と近くにある清水谷（しみずやと）と市民の森を一体としてとらえ、その保全を図りながら活用を検討する」**ということになったのです。

議会側からは、本用地は歴史的なもめにもめた市境問題とのからみがあるだけに、利用の仕方について、藤沢市を初めとして関係団体等との十分な協議が整っているかの質問や注文が出されました。

位置図

（仮称）小出第二小学校用地